

園だより あおいそら 8月号

令和6年7月17日（水）熊本大学教育学部附属幼稚園

♪園長のコラム♪

ゆれるところを物語にする

連日の大雨、急な天候の変化など、保護者の皆様には、様々な対応を心より感謝いたします。梅雨明けは、間近。これから、蝉の声を聞きながら、子どもたちと一緒に、夏を楽しみましょう。

私たちは、毎週、園内研修の時間を設定し、幼児教育についての研究、研修を行っています。先週、その中で「ごっこ遊び」について話題になりました。「ごっこ遊び」には子どもたちの中に繰り広げられる子ども達だけにしか存在しない世界があるのです。

年中組さんのごっこ遊びは実におもしろい。数人の男の子が格好いい武器を作って遊ぶグループ、赤ちゃんをおんぶ紐で抱いて、ポーチで始まるお家ごっこなどです。子ども達の中だけで広がっている世界をちょっとでいいから見せて欲しいとつくづく思います。先週、年中組の男の子達が私のところへ颯爽とやって来ました。「やあ、園長先生！」とかっこ良く声をかけてくれました。メンバーは次々に持っている武器を見せ、説明してくれました。そして、また、颯爽と私の前を通り過ぎていきました。いま、それぞれの子どもの心の中に世界や物語が広がっています。それは、決して、仲間と共有出来ている世界や物語ではないかもしれませんが。それぞれが物語をもっていて、そこで一緒に集える、遊べる仲間がいることに喜びや、楽しさをいっぱいに感じているのです。たくさん感じた心を揺れる心を物語にして遊ぶ。現実と物語の世界を行ったり来たりして楽しむことができるのが四歳児なんです。だから、おもしろい！しかし、その中へ大人はすかさずか入り込んではいけません。そのかわり具合が私たちにとってとても難しいところなんです。でも、そっとのぞいてみたい魅力的な世界なんです。

思い出せないかもしれませんが、保護者の皆様もきっと心の奥の方に一人一人違った世界が残っていることでしょう。その時期にしかできないこんな経験を積むことで、先日の高崎先生のお話に出てきた

○自分の興味や感性に従って主体的に探求していこうとする力

○分からない課題に対してどうするべきかを考え、とにかくやってみる行動力

このような力が身につくのではないのでしょうか。これから、子どもさん方が明るい未来を支えていく時代。何が起きるか分からない、その中でも自分の人生をしっかりと歩めるよう、私たちは、保護者の皆様と一緒に大切なお子様を育ててまいります。

「夏まつり」大変お世話になりました

7月6日（土）の夏まつりにおきましては、大変お世話になりました。暑かったのですが、お天気が良く、子どもさん方の笑顔がとても嬉しく思いました。子ども達のわくわく楽しい一日でした。

早くから、たくさんの準備をしていただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

楽しい夏休みをお過ごしください 「くすの木」について

早いものです。もうすぐ夏休みになります。終業式の日、「くすの木」をお渡しします。これは、担任より一学期のお子様の成長の様子、遊びの姿等をお伝えするものです。ご家庭で一緒にご覧になって、成長を振り返ってください。たくさん褒めてあげてください。

二学期、お会いできるのをお待ちしております。楽しい夏休みをお過ごしください。